



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月30日

上場会社名 株式会社ファンケル 上場取引所 東
 コード番号 4921 URL <http://www.fancl.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)島田 和幸
 (役職名)取締役執行役員 (氏名)石神 幸宏
 問合せ先責任者 グループサポートセンター長 TEL 045-226-1200
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	81,592	13.8	7,035	—	7,190	—	4,839	21.0
29年3月期第3四半期	71,674	5.4	△440	—	△331	—	4,001	334.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 4,842百万円(26.2%) 29年3月期第3四半期 3,838百万円(323.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	76.39	75.54
29年3月期第3四半期	63.73	62.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	87,939	74,322	83.6
29年3月期	85,677	72,402	83.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 73,516百万円 29年3月期 71,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
30年3月期	—	29.00	—		
30年3月期(予想)				29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 平成29年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭
 平成29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭
 平成30年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭
 平成30年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,500	11.6	7,700	243.1	7,850	229.1	5,400	4.9	85.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 2社(社名) 株式会社ファンケル化粧品
株式会社ファンケルヘルスサイエンス

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	65,176,600株	29年3月期	65,176,600株
② 期末自己株式数	1,649,211株	29年3月期	2,184,389株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	63,356,931株	29年3月期3Q	62,784,910株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、個人消費が底堅く推移し、緩やかな回復基調が継続しております。先行きについては、依然として海外情勢に不透明感があることから、留意すべき状況が続いております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、主力の化粧品関連事業、栄養補助食品関連事業が増収となり、全体では81,592百万円(前年同期比13.8%増)となりました。営業利益は、増収効果による売上総利益の増加に加え、採算性の高い化粧品関連事業の売上構成比が高まったことや、マーケティング費用の効率的な使用に努めたことなどにより、7,035百万円(前年同期は440百万円の営業損失)となりました。経常利益は7,190百万円(前年同期は331百万円の経常損失)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は4,839百万円(前年同期比21.0%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は49,387百万円(前年同期比17.0%増)となりました。

	平成29年3月期 前第3四半期連結累計期間		平成30年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	33,240	78.7	37,931	76.8	14.1
アテニア化粧品	6,748	16.0	8,483	17.2	25.7
boscia(ボウシャ)	1,587	3.8	2,320	4.7	46.1
その他	651	1.5	651	1.3	0.1
合計	42,228	100.0	49,387	100.0	17.0

	平成29年3月期 前第3四半期連結累計期間		平成30年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	18,826	44.6	20,827	42.2	10.6
店舗販売	14,862	35.2	17,579	35.6	18.3
卸販売他	3,860	9.1	5,169	10.5	33.9
海外	4,678	11.1	5,811	11.7	24.2
合計	42,228	100.0	49,387	100.0	17.0

ファンケル化粧品は、「マイルドクレンジングオイル」のリニューアルや基礎スキンケアのお客様数の増加、マチュア世代向け化粧品「ビューティブーク」の寄与などにより、37,931百万円(前年同期比14.1%増)となりました。

アテニア化粧品は、「アテニア ミッドナイトモイスチャライザー」、「リフトジェネシス」などの新製品効果に加え、ウェブを活用したコミュニケーション戦略によりお客様数が大幅に増加し、8,483百万円(前年同期比25.7%増)となりました。

boscia (ボウシヤ) は、主力の「ブラックマスク」が好調に推移したことなどにより、2,320百万円(前年同期比46.1%増)となりました。

販売チャネル別では、通信販売は20,827百万円(前年同期比10.6%増)、店舗販売は17,579百万円(前年同期比18.3%増)、卸販売他は5,169百万円(前年同期比33.9%増)、海外は5,811百万円(前年同期比24.2%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収効果による売上総利益の増加に加え、主力製品の売上伸長に伴う売上総利益率の改善や、インターネットの活用などによるマーケティング費用の効率的な使用により、営業利益は7,450百万円(前年同期比165.1%増)となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は26,867百万円(前年同期比12.4%増)となりました。

	平成29年3月期 前第3四半期連結累計期間		平成30年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	9,847	41.2	10,235	38.1	3.9
店舗販売	5,749	24.1	7,514	28.0	30.7
卸販売他	7,182	30.0	7,723	28.7	7.5
海外	1,119	4.7	1,394	5.2	24.5
合計	23,898	100.0	26,867	100.0	12.4

製品面では、機能性表示食品「カロリミット」シリーズや「年代別サプリメント」、「HTCコラーゲン」が好調に推移したことなどにより、増収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は10,235百万円(前年同期比3.9%増)、店舗販売は7,514百万円(前年同期比30.7%増)、卸販売他は7,723百万円(前年同期比7.5%増)、海外は1,394百万円(前年同期比24.5%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収効果による売上総利益の増加に加え、主力製品の売上伸長に伴う売上総利益率の改善や、マーケティング費用の効率的な使用により、営業利益は782百万円(前年同期は1,476百万円の営業損失)となりました。

③ その他関連事業

売上高

その他関連事業の売上高は5,337百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

	平成29年3月期 前第3四半期連結累計期間	平成30年3月期 当第3四半期連結累計期間	伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米	1,902	1,726	△9.2
青汁	2,067	1,993	△3.6
その他	1,577	1,617	2.6
合計	5,547	5,337	△3.8

営業損益

損益面では、減収となったものの、販売費及び一般管理費が減少したことなどにより、営業利益は175百万円(前年同期は526百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて2,261百万円増加し、87,939百万円となりました。この要因は、流動資産の増加3,586百万円および固定資産の減少1,324百万円であります。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加1,281百万円および受取手形及び売掛金の増加2,751百万円であります。固定資産の減少の主な要因は、繰延税金資産の減少などによる投資その他の資産「その他」の減少1,072百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて340百万円増加し、13,616百万円となりました。この要因は、流動負債の増加1,100百万円および固定負債の減少759百万円であります。流動負債の増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加557百万円および未払金の増加などによる流動負債「その他」の増加1,301百万円と、未払法人税等の減少409百万円および賞与引当金の減少385百万円であります。固定負債の減少の主な要因は、退職給付に係る負債の減少778百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,920百万円増加し、74,322百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加4,839百万円および新株予約権の行使に伴う自己株式の処分などによる自己株式の減少775百万円と、配当金の支払いによる利益剰余金の減少3,667百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末同様の83.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月27日の決算発表時に公表した平成30年3月期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしました。

(通期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
前回発表予想	105,000	9.0	6,000	167.3	6,100	155.7	4,000	△22.3	63.50
今回修正予想	107,500	11.6	7,700	243.1	7,850	229.1	5,400	4.9	85.72

売上高はファンケル化粧品やアテニアが好調なことに加え、インバウンド需要が想定を上回って推移していることなどから、前回予想を上回る見通しです。

各利益についても、第4四半期に來期を見据え追加的に広告投資を実施するものの、増収効果により前回予想を上回る見通しです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,609	32,891
受取手形及び売掛金	11,101	13,852
商品及び製品	3,833	3,961
仕掛品	23	25
原材料及び貯蔵品	3,763	4,063
その他	3,273	2,432
貸倒引当金	△79	△113
流動資産合計	53,526	57,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,156	27,367
減価償却累計額及び減損損失累計額	△14,985	△15,516
建物及び構築物（純額）	12,170	11,850
機械装置及び運搬具	8,408	8,634
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,534	△6,904
機械装置及び運搬具（純額）	1,874	1,730
工具、器具及び備品	8,025	8,250
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,772	△7,089
工具、器具及び備品（純額）	1,252	1,161
土地	11,607	11,607
リース資産	268	312
減価償却累計額及び減損損失累計額	△148	△160
リース資産（純額）	119	152
その他	25	128
有形固定資産合計	27,049	26,630
無形固定資産		
その他	2,045	2,214
無形固定資産合計	2,045	2,214
投資その他の資産		
投資有価証券	128	126
その他	2,928	1,855
投資その他の資産合計	3,056	1,982
固定資産合計	32,151	30,826
資産合計	85,677	87,939

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,307	2,864
未払法人税等	1,088	678
賞与引当金	1,030	645
ポイント引当金	1,617	1,654
資産除去債務	2	1
その他	5,264	6,566
流動負債合計	11,310	12,410
固定負債		
退職給付に係る負債	1,303	524
資産除去債務	416	420
その他	245	260
固定負債合計	1,965	1,206
負債合計	13,275	13,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	52,339	53,446
自己株式	△3,170	△2,395
株主資本合計	71,670	73,552
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	119	86
退職給付に係る調整累計額	△159	△122
その他の包括利益累計額合計	△39	△36
新株予約権	771	805
純資産合計	72,402	74,322
負債純資産合計	85,677	87,939

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	71,674	81,592
売上原価	21,381	23,539
売上総利益	50,292	58,052
販売費及び一般管理費	50,733	51,017
営業利益又は営業損失(△)	△440	7,035
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	0	0
受取賃貸料	78	77
雑収入	122	123
営業外収益合計	204	204
営業外費用		
固定資産賃貸費用	26	26
為替差損	43	-
雑損失	24	22
営業外費用合計	94	49
経常利益又は経常損失(△)	△331	7,190
特別利益		
固定資産売却益	0	-
新株予約権戻入益	36	3
投資有価証券売却益	4,440	-
退職給付制度移行益	-	5
特別利益合計	4,477	8
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	28	43
減損損失	64	1
店舗閉鎖損失	26	86
その他	1	1
特別損失合計	121	132
税金等調整前四半期純利益	4,024	7,066
法人税、住民税及び事業税	593	1,073
法人税等調整額	△570	1,153
法人税等合計	23	2,227
四半期純利益	4,001	4,839
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,001	4,839

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	4,001	4,839
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△166	△33
退職給付に係る調整額	4	36
その他の包括利益合計	△162	2
四半期包括利益	3,838	4,842
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,838	4,842
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社かつ特定子会社でありました㈱ファンケル化粧品および㈱ファンケルヘルスサイエンスは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	42,228	23,898	5,547	71,674	—	71,674
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	42,228	23,898	5,547	71,674	—	71,674
セグメント利益又は損失(△)	2,810	△1,476	△526	807	△1,248	△440

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,248百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	49,387	26,867	5,337	81,592	—	81,592
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	49,387	26,867	5,337	81,592	—	81,592
セグメント利益	7,450	782	175	8,408	△1,372	7,035

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益の調整額△1,372百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。